

岡村よしき議会報告

よしき新聞

第19号
発行・編集
岡村よしき後援会
佐倉市中志津6-15-17
TEL043(488)0229

減災・救命・地域再生・子育て

地域再生施策について

問「佐倉のシンボルである印旛沼を地域再生の主役として中心に据えて、歴史・文化・自然・観光・産業等について、多面的な取り組みを図ることが大変に重要だと考える。国や県が何かやってくれるのを待つ時代に終止符を打ち、積極的に流域（印旛沼近隣市町村）が連携・協力して、国・県へ具体的な施策・計画を考案し、将来象を示していく時だと考える。印旛沼に関わる近隣市町村を鑑みた時、佐倉市が中心的役割を担う市である事

は間違いない。内閣府が行っている地域再生法に基づく地域再生計画認定制度・地域の地力全開戦略は、財政支援措置がある事から、この財源を使わない手はないと考える。蔵市長が立ち上がり、印旛沼の近隣市町村を含め地域再生協議会等を立ち上げる等、具体的取り組みを開始すべきと考えるが、市長の考えは？」

答「印旛沼を中心とした周辺市町村・関係団体・NPO等幅広い方々と協力し、自然・農業・住環境・観光等のあらゆる側

新生児全戸訪問事業

問「昨年、市の健康増進課・母子健康推進班では、佐倉市社会福祉協議会に新生児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問協力者の募集について）と標記の文章を配布し募っていた。現在市は、平成18年より、地区担当保健師による、生後4か月までの第一子新生児全戸訪問事業を行っている。今回の募集は、職員の手が回らなくなり、本来市の仕事を市社協が受け、地区社協に丸投げしているとの厳しい声が少なくない。説明不足が原因だろうか。」

減災・救命対策について

問「過去の震災では、死者の約8割が、家屋・家具等の下敷きになり逃げられなかった事によるもの。①災害時に自らの身を守ることが困難である高齢者や障害者等要援護者（災害弱者）の情報把握と対策は？②各地域で防災・減災の役割を担って

施設への設置時期は？」

答「①福祉担当部と防災担当部との情報共有方式について検討している。②消防団へ、災害時の救助活動に必要な資機材を備える必要があると考えている。③6月に設置の予定。市所管の施設76箇所へ設置となる。」

岡村よしき 後援会より



佐倉市議会議員 岡村よしきは市民の皆様の声に真剣に耳を傾け、安心・安全の住み良いまちづくりに全力でがんばっています。さまざまなご意見・ご要望を、身近なところからお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

暮らしのご相談もお気軽にどうぞ！

岡村 よしき 連絡先
043(488)0229 FAX兼用
E-mail okamura@catv296.ne.jp
URL <http://www.e-giin.net/okamura/>

窓口等に於ける市民サービスの向上

問「市集中改革プランでは、施策の顧客満足度について、二人に一人が満足するよう目標を定めており、顧客重視の取り組みから、対応サービスについてもアップを図っているものと考えている。しかし、先日高齢の母親が亡くなり、市役所に様々な手続きに來られた際、庁内3か所で手続きがあり、それぞれの接客時の対応にかなりの差があり、懇切丁寧な対応で市民の側に説明してくれたかと思えば、形式的に余計なことは一切言わないし、やりませんといった態度もあった。何故、こんな

に窓口の対応が違うのか？と不信感を募らせていた。

答「市の行政サービスは、市民の為に行うもので、満足して頂く事が基本です。組織間の対応の違いは、あつてはならない事で、出来る限りサービス提供出来るよう努める。」